

9月9日は「救急の日」です！

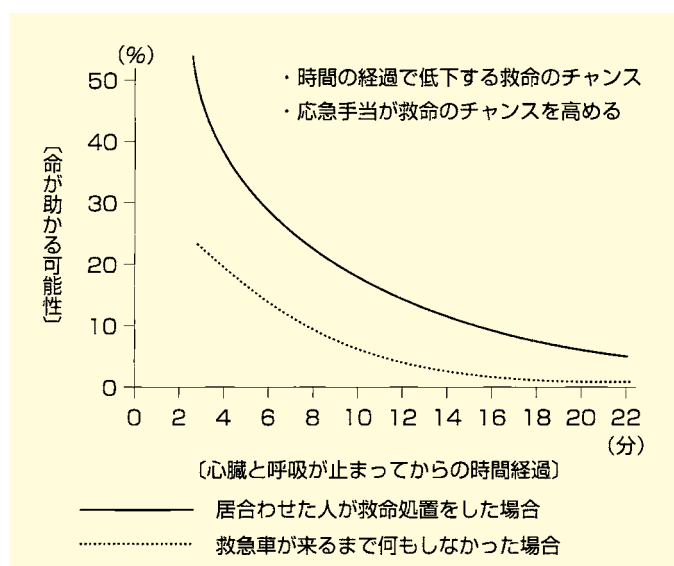
「あなたは、大切な人を、救えますか。」

曾於市・志布志市・大崎町で心肺停止により救急車で搬送された約99%に当たる100名近い方が、年間亡くなっています。これらの方を1人でも多く救うために消防署では、**普通救命講習会**を実施しております

★救急車が来るまでに・・・あなたならどうする？

もし、目の前であなたの大切な人が倒れたらあなたならどうしますか？

意識を失ったり、呼吸や心臓が止まってしまった場合、救急車が来るまでに、その場に居合わせた人が救命処置（心肺蘇生法と止血法）を施すか否かによって、その人の生死を左右してしまうことがあるのです。あなたが救命処置方法を知っていれば、大切な人の命を救うことができるのです。



左の図は、救命のチャンスを表したものです。

- 現場に居合わせた人が救命処置を3分以内で行った場合には、約50%以上の救命のチャンスがあります。
- 倒れてから3分以内に、何もなかった場合は、救命のチャンスは約20%に下がります。

この図から、救急車が来るまでの間にいかに早く救命処置をしなければならないか分かります。消防署ではこのような時に、だれでも救命処置ができるように、「普通救命講習会」を開催しています。難しいことはありません。**あなたの愛する家族や仲間の尊い生命**を救う為に、ぜひ、**自治会や職場等**で取り組んでみませんか。詳しいことは末尾記載の消防署等にお問い合わせ下さい。

“末吉中央公民館で100人規模の普通救命講習会開催”

1. 日時 平成23年9月9日（金）13時30分から17時00分
2. 場所 曾於市末吉町 末吉中央公民館（2F）

★普通救命講習会お問い合わせ先

- ・北部消防署 ☎ 099-482-0119
- ・末吉救急分駐所 ☎ 0986-76-9119
- ・財部分署 ☎ 0986-72-0119
- ・南部消防署 ☎ 099-477-0119
- ・大崎救急分駐所 ☎ 099-476-0119

あなたの行動で家族の命が救えます！

★1分でも早い心肺蘇生が有効！

自宅などでの心停止の数は、年間2～3万人と推定されています。心停止の場合、1分経過するごとに生存率が約7～10%低下するとされているため、救急車が現場へ到着するまでの間（約6～7分）、近くに居合わせた人による、心肺蘇生が非常に重要となってきます。

救命処置の流れ

(1) 反応を確認する。

「だいじょうぶですか？」など、数回呼びながら肩をたたき、反応を確認します。

(2) 助けを呼ぶ（119番通報とAEDの手配）

反応がない場合は誰かに消防署（119番）への電話を頼んでください。

AEDがもしあれば、持ってきてもらいます。

(3) 気道確保と呼吸の確認

傷病者が正常な呼吸をしているか確認します。

①まず、気道を確保して呼吸の確認をします。

気道確保は頭部を後屈させ、あごを持ち上げ確認します。
(見て、聞いて、感じて確認します。)



胸骨圧迫 30 回と
人工呼吸 2 回

②呼吸がなければ、人工呼吸を行います。

鼻をつまんで1秒かけてゆっくりと息を2回吹き込みます。



成人は4～5cm 沈む
ほど圧迫

③次に、胸骨圧迫（心臓マッサージ）を行います。

胸の真ん中（乳首と乳首の間）を両手で30回圧迫します。
(1分間に100回のテンポ)



④再び気道を確保し、2回の人工呼吸を行います。

「30回の胸骨圧迫と2回の人工呼吸」を1サイクルとして救急車が来るまで繰り返します。

小児は胸の厚みの
1/3を圧迫

※心肺蘇生行為は、責任を問われることはありません。ためらわずに迅速に対応しましょう。